

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月05日

計画の名称	交通結節点を中心とした都市拠点の整備													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	富山県													
計画の目標	あいの風とやま鉄道の新駅開業（平成33年春予定）に合わせ、駅等交通拠点へのアクセス道路の整備により、活力ある地域づくりを行う。 駅周辺の魅力向上と賑わい創出を図るため、都市公園施設の改築・更新を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		2,585	A	2,585	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）	（H33末）	（H35末）
1	人口減少や少子高齢化の進展に伴い、減少が見込まれるあいの風とやま鉄道の利用者数をH35末時点で約34,700人以上とする。（利用者数の主要部分を占める通勤通学利用の減少が見込まれるが、駅周辺の整備およびアクセス道路の整備により、利用者数の減少を最小限に抑える。）			
	1日当たりのあいの風とやま鉄道の利用者数	40636人	36300人	34700人
2	駅周辺に位置する都市公園（5公園）の利用者数を、年間約3,500,000人（H30末）から約3,600,000人（H35末）に増加する。			
	駅周辺の都市公園利用者数(5公園)	3500000人	3550000人	3600000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	富山県	直接	富山県	S街路	改築	（都）富山新駅停車場線	道路新設 0.61km	富山市	■	■	■			400		-	
											小計						400			
都市公園・緑地等事業	A12-002	公園	一般	富山県	直接	富山県	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	都市公園施設の改築等 5公 園	富山市	■	■	■	■	■	1,500		策定済	
											小計						1,500			
道路事業	A01-003	街路	一般	富山県	間接	土地区画整理組合	区画	改築	泊駅南地区（国道 8 号停車場線）	区画整理 10.7ha	朝日町	■					65		-	
	A01-004	街路	一般	富山県	直接	富山県	S街路	改築	（都）東岩瀬線	現道拡幅 0.12km	富山市		■	■	■	■	620		-	
												小計						685		
											合計						2,585			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

令和7年10月

公表の方法

富山県のホームページ

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 利便性の高い魅力ある駅周辺の整備および駅等交通拠点へのアクセス道路、施設の整備等を行い、利用者数の増加に寄与した。
- ・ 都市公園施設の改築・更新を行い、利用者の利便性向上に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き活力ある地域づくりが行われるよう事業進捗に努める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	34700人	駅周辺や駅等交通拠点へのアクセス道路・施設の整備を着実に実施したことにより、目標を上回る結果となった。
	最 終 実績値	39531人	
2			
	最 終 目標値	3600000人	新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、目標を下回る結果となった。
	最 終 実績値	3022278人	